

おい自然園 自然観察会

初夏の生きものさがし



日時 平成27年6月13日(土) 午前9時00分~11時30分

場所 おおいゆめの里

講師 一寸木 肇 おおい自然園 園長

参加者 24人

サポーター11人

いろいろな鳥を観察しよう



これから、初夏のいきものさがしをはじめます。

ところで、今、何℃くらいあると思いますか？

23℃？ 28℃？

温度計で確認してみましょう。25℃です。

これから、観察会を始めますが、水分はしっかりと補給してくださいね。また、気分が悪くなったときは遠慮なくスタッフに伝えてくださいね。

今回の観察会もサポーターさんたちがお手伝いしてくれます。よろしくお願いします。

それでは、観察会へ出発します！



耳を澄ますと、きれいな鳥のさえずりが聞こえます。
声が聞こえる方を見ると、電線の三段目に鳥が留まっています。
あそこで、鳴いているようです。双眼鏡で見てみましょう。



今、見えている鳥はどれくらいの大きさでしょうか。
スズメくらい？
ハトくらい？
カラスくらい？
これらの鳥は、大きさを比較するうえでよくつかわれ、「ものさし鳥」と言われています。



では、今、見えている鳥の大きさは、スズメ、ハト、カラスのどれに近いでしょうか？
「スズメくらいの大きさかな。」

では、どんなふうに鳴いていますか？
「上を向いて鳴いているよ。」
「目の上と下が白いみたい」

この鳥は、ホオジロという鳥です。
ほおの部分が白いですね。
特徴は、高いところでさえずります。

ツバメが気持ちよさそうに飛んでいます。建物の壁にもツバメがいますね。



大井町には2種類のツバメがいます。
一つの種類は、のどが赤くて尾の羽が二つに分か
れているツバメ。

もう一つの種類は、羽の後ろの腰あたりが白くて、
尾の羽は二つに分かれていません。それに、少し小
型です。

さて、今、とまっているツバメはどちらのツバメで
しょうか？



観察して分かりましたか？のどが赤いほうのツバメですね。

もう一つの種類はイワツバメという種類で、足柄紫水大橋のあたりで見ることができます。

イワツバメは、もともと大井町にはいませんでした。八王子に持ち込まれて相模川沿いで増えて下流
域に来たと言われています。

ツバメの巣の下にはふんがたくさん落ちています。

ツバメやツバメのひなは何を食べているのでしょうか。ふんを調べれば分かります。

鳥の間はうんちとおしっこを一緒にだします。(総排泄腔) 白く見えるものがおしっこ(尿酸)です。お茶のパックにふんを入れて、水で洗うとふんの白い部分が落ちて、黒っぽいものが残りました。後で顕微鏡で観察してみましよう。



電線に、先ほどとは違う種類の鳥がいます。スズメより大きく、カラスより小さいですね。双眼鏡で調べてみましょう。



ムクドリです。

逆光で、黒っぽく見えますが、くちばしが黄色ですね。



ムクドリがとまっていた電線の下の道路に種のようなものがたくさん落ちています。

今、上にいるムクドリからも落ちてきました。

これは、ムクドリのふんでしょうか？

けれどもふんに見られる白いものがありませんね。

これは、ムクドリが口から吐き出したさくらんぼの種です。

ムクドリが食べたさくらんぼは、ソメイヨシノというサクラで、人が食べるととても渋い味がします。

空の上の方で、飛びながら鳴いている鳥がいます。
ヒバリです。



しばらくすると、ヒバリは急降下して地面に降りました。

近くに巣があるのでしょうか？

答えは、そこには巣はありません。

ヒバリは、巣から遠いところに降りて敵をあざむき、外敵から卵やひなを守るのです。

子どもを守るヒバリの知恵ですね。

足跡からノウサギの走る姿を想像してみよう

畑に、いろいろな足跡があります。
耕作者の方から畑に入ることを許可されたので、調べてみましょう。



この足跡は、何の足跡でしょうか。

「ノウサギ」 正解です。

では、どういふステップでノウサギはこの足跡を残したのでしょうか。



足跡の上にノウサギの姿を置いてみるとイメージできますね。
ノウサギのステップをまねしてみましょう。





耕作者の方に畑に入る許可をいただき、ノウサギの足跡を追ってみました。どこまで続いているのでしょうか。このように、動物になったつもりで足跡を追うことをアニマルトレイルと言います。アメリカインディアンは、この方法で狩りをしました。

ジャガイモを観察してみよう



ジャガイモ畑で耕作者の北村さんにお話を伺いました。

Q「畑のジャガイモは、花の色や背丈が違うけれど、全て同じ種類なのですか？」

A「キタアカリ、メイクーン、ダンシャク、デフラの4種類のジャガイモが植えてあります。

種類によって味や料理方法も違うんですよ。」

ジャガイモの花を観察してみましよう。

花びらは何枚でしょうか？

3枚？

5枚？



「下の方で花びらがつながっているよ。」

花びらは5枚に見えるけれどつながっているから1枚ですね。



これは、ジャガイモの実です。
寒い夏によく見られると言われています。
ジャガイモは、もともと南アメリカのアンデス高原が原産と言われ、そこは寒いところでした。

【ジャガイモの歴史】

ジャガイモはコロンブスの新大陸発見後、スペイン人がヨーロッパに持ち込みました。その後、ジャカルタを活動拠点としていたオランダから約400年前に日本に持ち込まれたと言われています。



ジャガイモの実をカッターナイフで切ってみました。ミニトマトに似ていますね。
そういえば、ジャガイモの花とトマトやナスの花は似ています。
みんな同じナス科の植物なのです。

ジャガイモの実 ミニトマトに似ている

ゴボウは何の仲間？



ジャガイモの隣には大きな葉の野菜が植えられています。

葉は、何に似ていますか？

「フキに似ている。」

この野菜はなんでしょう？

北村さん、この野菜はなんですか？

「これはゴボウだよ。掘ってみると地中深くゴボウができていますね。」

それにしても、ゴボウを掘るのはとても大変そうですね。

葉がフキに似ていると誰かが言いましたが、ゴボウはキク科の仲間です。



シロツメクサを観察してみよう



シロツメクサを知っていますか？

四つ葉のクローバーとしてさがした人もいると思います。

では、シロツメクサの実を見たことがある人はいますか？

今日は、シロツメクサの実を観察してみましょう。

茶色くなった花の中から緑色の実が出てきました。

何かに似ていませんか。

枝豆みたいですね。

シロツメクサはマメ科の仲間なのです。



アジサイを観察してみよう



梅雨空にアジサイがとてもきれいに咲いています。

このアジサイはガクアジサイという種類ですが、花をよく見てみると、2つの種類の花があることが分かります。

大きな花は、装飾花といって飾りの花で、小さい花が本当の花（真花）です。

飾りの花で虫たちを呼び寄せているのですね。



今日のできごとを新聞にしてみよう

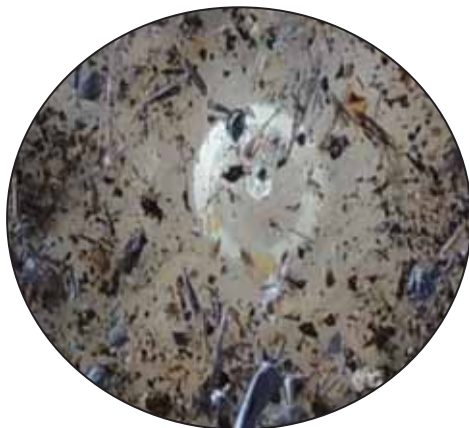


新聞づくり



ツバメの卵の大きさクイズ

ツバメのふんを観察してみよう



ツバメのふんを水で洗い出したものを顕微鏡で見てください。
黒く見えるのは昆虫の羽やあしです。
ツバメは、昆虫を食べていたのですね。

サポーターの反省会



観察会終了後、サポーターは、今日の観察会の感想や反省を話し合いました。

この自然観察会はサポーターの支えで安全に開催されています。

今回の観察会もとても楽しく開催することができました。ありがとうございました。